

＜目指す学校像＞

- ・夢や目標をもって、自己実現を図ることができる学校（児童）
- ・子ども一人一人を大切にできる学校（教師）
- ・安心・安全で信頼できる学校（保護者・地域）



＜目指す児童像＞

- ・自ら考え、共に学び合い、高め合う子ども（知）
- ・相手の身になって考え行動できる、優しさや強さをもつ子供（徳）
- ・健康な心と体づくりを意識し、主体的に実践できる子供（体）



＜教育目標＞

考える子（夢いっぱい・知）
思いやりのある子（笑顔いっぱい・徳）
たくましい子（元気いっぱい・体）

＜今年度のスローガン＞

「あきらめずに（た）のしく（ま）えむきに」

よりよい自分を目指して「前向きな意欲」「諦めない強い心」「工夫する力」をもたせるため、年間を通して「主体性」「粘り強さ」「向上心」「創意工夫」に重点を置いて実践する。

＜第7次 福島県総合教育計画 福島県で育成したい人間像＞

- ・急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人

＜桑折町の15歳のめざす姿＞

- ・人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子



＜学校経営の基本理念＞ 「半田プライド」を胸に、ふるさとを愛し、高い志と強い意志をもち、地域とともに学ぶ「半田っ子」の育成

確かな学力の向上（考える子）

【重点】論理的に考え、よりよく表現できる。

1 確かな学力の定着をめざす学習指導の充実

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ・「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業の充実
- ・適切な見取りと個に応じた指導の充実
- ・読み書き計算集中反復の充実（「チャレンジタイム」）
- ◎「思考力・判断力・表現力」の向上
- ・目的を明確にした話し合い活動の工夫（根拠を明確にして話す、意図を考
- ・ふくしまの「授業スタンダード」による探究型学習の充実と「活用力育成シート」の活用
- ・考えを共有し、思考を深めるICT（タブレット）機器の活用
- ◎振り返りの時間の充実
- ・子どもの思考を揺さぶる課題設定の工夫
- ・自己の高まりを実感し、次時へつなげるまとめ～適用や応用～振り返り

2 特別支援教育の充実

- ◎児童理解に基づいた合理的配慮、個別の指導計画を生かした指導
- ◎校内支援体制の整備、通級指導教室や関係機関との連携

3 読書活動の推進

- ◎読書時間（読書タイム）の確保と図書館司書等との連携
- ◎「家読の日」（毎月23日）を中心とした家庭における読書活動の充実

4 家庭学習の習慣化と自己マネジメント力の向上

- ◎「家庭学習スタンダード」「半田醸芳小 家庭学習の仕方」の活用
- ◎自学ノートの展示・掲示等による学習方法・内容への理解促進
- ◎家庭との連携（「家庭学習カード」等の活用、学級だより等による情報発信）

評価・チェック項目

□全国学調 □ふくしま学調 □NRT検査 □単元テスト
□百マス計算 □漢字合格率 □自学ノート □評価アンケート 等

豊かな人間性の育成（思いやりのある子）

【重点】互いを認め合い、ともに高め合うことができる。

1 道徳科・特別活動を核とした道徳教育の充実

- 考え、議論する道徳科授業の実践
- 体験的・問題解決的な活動における道徳実践の充実（評価と見取り）

2 よさを生かし、互いを認め合う集団活動の充実

- ◎自己肯定感を高め、よさを伸ばす学級経営
- ・一人一人が自己存在感を感じることができる働きかけ
- ・積極的な生徒指導の推進（教育相談、心のアンケート、生活アンケート、Q-Uテスト）
- ◎いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応
- ・日常的なコミュニケーション、各種アンケート調査による見取り、家庭や関係機関との連携
- ◎キャリア教育の視点を活かした特別活動・体験活動の推進
- ・係活動、委員会活動、児童会活動、ふるさと学、各出前授業との関連等
- ◎人間関係形成力を高める、自立した生活習慣作り
- ・言葉遣い、二言挨拶、返事、言葉かけ、ゲーム機器等の使用
- ◎発達段階と学年の実態に応じた情報モラル教育の充実
- ・情報機器を取り扱う際に起こりうるトラブルについて、未然防止と正しい利用の推進
- ◎学級や縦割り班活動による集団活動の充実
- ・「ふれあいタイム」「わんぱくタイム」での活動、無言清掃

3 人権教育の推進

- ◎教育活動全体を通じた人権教育の推進
- ・外国の異文化、平和、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等に対する理解
- ・人権が尊重される環境づくり（安心して過ごせる学校・学級）

4 環境教育の充実

- ◎SDGsと関連させた指導の充実（生活科・社会科・総合的な学習の時間等）
- ◎地域を生かした自然体験活動の充実（緑の少年団、森林環境学習等）

評価・チェック項目

□心のアンケート □生活アンケート □Q-Uテスト □いじめ認知数
□いじめ解消数 □不登校児童数 □評価アンケート 等

体力向上と健やかな心身の育成（たくましい子）

【重点】健康な生活へのめあてをもち、進んで取り組むことができる。

1 教科体育の充実と運動の日常化

- ◎体力の実態に応じた「1学級1実践」の継続した取組
- ◎体育科授業の充実
- ・体力の実態に応じた指導計画、単元計画による指導の充実（運動量の確保）
- ・運動身体づくりプログラムの自校化と継続実施
- ◎朝マラソン、朝ダッシュ、なわとび等の取組と各種校内記録会の実施
- ・業間運動等、継続的な場や一斉的な場の設定、取組の可視化と称賛
- ◎多様な遊びや運動の推奨と日常化（クロスカントリーコース・遊具・一輪車・竹馬等）

2 保健健康指導の充実

- ◎基本的生活習慣の確立（規則正しい生活、「早寝・早起き・朝ご飯」）
- ◎メディアコントロールの推進（自己マネジメント力の向上）
- ・「夜8時以降はノーメディア」のさらなる意識化及び見取りと評価
- ◎学校課題に応じた指導の充実（出前授業・歯の衛生指導・肥満指導等）
- ◎継続的な感染症予防指導（家庭と連携した取組）

3 食育の充実

- ◎栄養教諭等と連携した食育授業の推進
- ◎給食の時間を利用した食生活（栄養バランス・マナー等）の指導

4 防災教育・安全教育の推進

- ◎系統的、継続的指導による安全に対する意識の高揚と主体的態度の育成
- ◎具体的な場面を想定した危険予知・回避能力の育成（交通教室・避難訓練）
- ◎緊急時の危機管理マニュアルの周知・徹底（家庭・地域・関係機関との連携・引き渡し訓練）

評価・チェック項目

□体力テスト □水泳・持久走・なわとび記録会 □運動カード
□肥満率 □う歯率・治療率 □朝食摂取率 □評価アンケート 等

特色ある教育活動・開かれた学校づくり 「半田ならではの」

- 「ふるさと学」の推進と地域の教育資源の活用
- ・さつまいも・たくわん・米作り、半田銀山祇園ばやし、ホタル学習、西山城・半田銀山等の歴史学習
- 人とのかわわりを大切に交流活動（異学年、他校、高齢者、地域）
- 学校、学年、保健、食育、生徒指導等各種おたよりの計画的な発行
- HPによる保護者や地域へのタイムリーな情報発信
- 学校評価を生かした、反省・改善の変容が見える教育実践
- 緊急連絡メール配信システムの有効活用



教職員の専門的な資質・能力の向上 「チーム半田」

- 全職員が目的意識と研修意欲をもった職務遂行と学校運営への積極的参画
- 教職員人事評価を中心に据えた教職員の意識改革と教師力の向上
- 現職教育を中心とした自己研鑽と校内研修の充実
- ・外部講師の活用 ・実効性のある授業研究会の推進（互見授業の充実）
- 不祥事絶無をめざす高い倫理観と法令遵守の意識高揚
- ・服務倫理委員会の充実と不祥事ゼロ
- 教職員同士の信頼感やセーフティネットの役割の構築
- 働き方改革を意識した業務改善により、子どもと向き合う時間の確保

